

第5期安芸地域アクションプランの 修正（予定項目）

安芸地域本部
令和6年10月22日(火)

安芸地域アクションプランの修正(予定項目)

修正

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 8 海の駅東洋町を拠点とした地域振興	<p>今年8月に「道の駅」として国土交通省に登録され、10月9日には東洋町において「道の駅」の登録証伝達式と除幕式が行われた。</p> <p>今後は、「道の駅」として認知度を高めながら地域の活性化を図っていくため、地域アクションプランの名称を「海の駅」から「道の駅」へと修正する。</p>
2	No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興(室戸市) 【実施主体】室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、民間事業者	<p>室戸市の課題となっていた「お土産物の不足」に対応するため、産振アドバイザー制度を活用してお土産物の開発・販路拡大に取り組む事業者を公募したところ、2社(スカイアンドシー・ムロト、(株)East水産)が当アクションプランに加わることとなったため、実施主体を修正する。</p> <p>また事業概要において、当初(仮)としていたプロジェクト名が正式に決定したため「室戸のおもたせ開発・発掘プロジェクト」に修正する。</p>

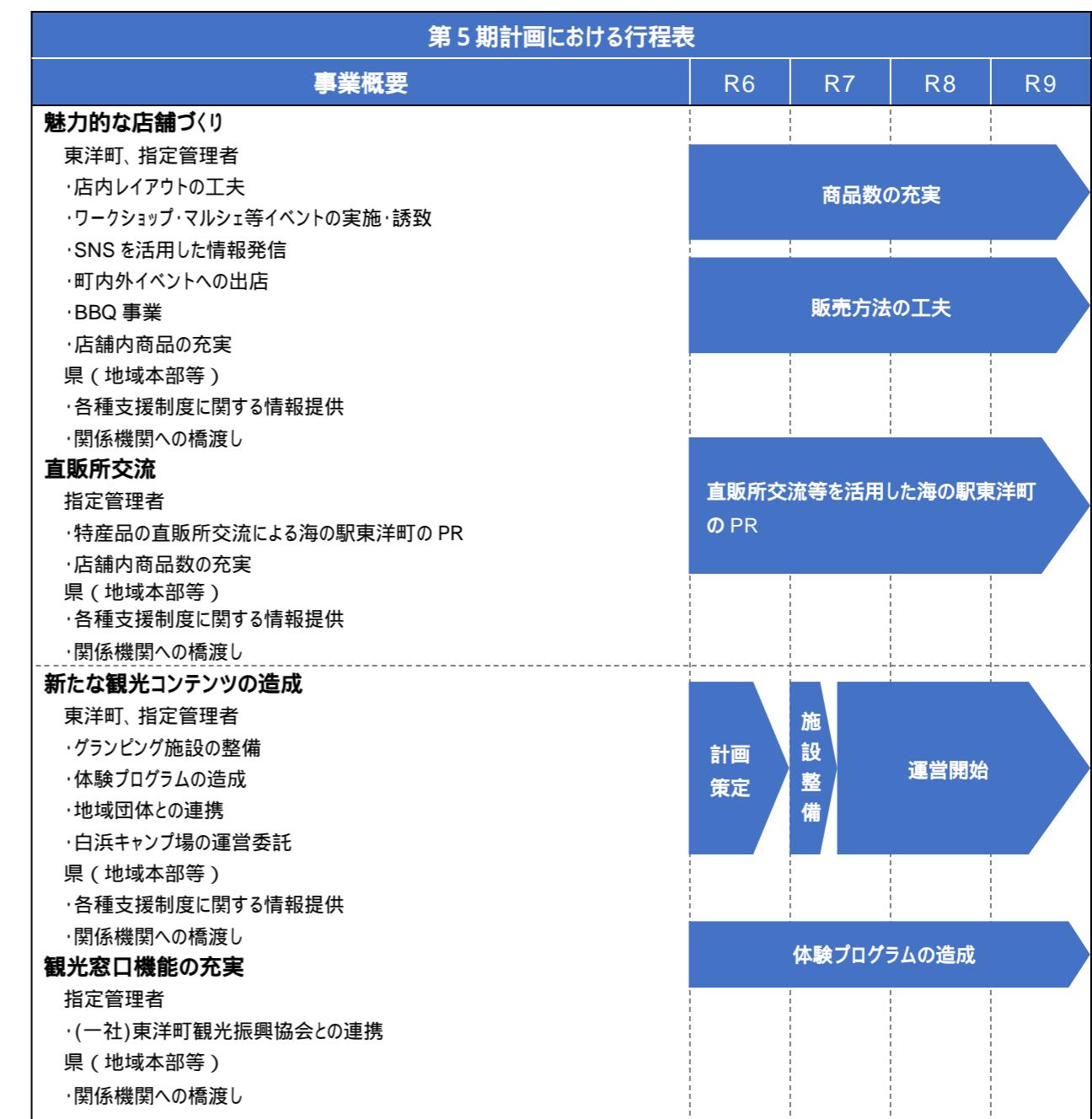
修正前

安芸地域アクションプラン

	分野	商工業
AP名 (実施地域)	No. 8 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)	
実施主体	東洋町、 指定管理者 ((株)FoundingBase)、生産者、地域団体	
APへの位置づけ	H21.4月	
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の駅東洋町」の整備 (H20.1月) ・火災による焼失 (H24.7月) ・再建、運営開始 (H26.1月～) 　　産振補助金の活用 (H24～25) ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加 (H29) ・駐車場などを活用したイベント誘致 ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～3) ・キャッシュレス対応 (R2) ・駅長の設置 (R3) ・地域活性化起業人制度の活用 (R4～) ・BBQ事業の開始 (R4) ・直販所交流 (R4～) ・指定管理による運営開始 (R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅長（責任者）の設置による運営体制の強化 ・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供 ・売上高 R元:1.68億円 R2:1.35億円 R3:1.52億円 R4:1.86億円 ・入込客数 R元:175,666人 R2:140,231人 R3:155,477人 R4:169,520人 ・直販所交流 交流直販所数:31カ所 (R6.2月時点累計) ・観光窓口機能の充実 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者（出品者）との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用
観光機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・BBQ事業の開始、カツオの藁焼き体験の試行 (R4) ・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有 (R4) ・グランピング施設の検討 	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者（出品者）との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)売上高	1.86 億円 (R4)				3.25 億円
(2)来場者数	169,520 人 (R4)				200,000 人



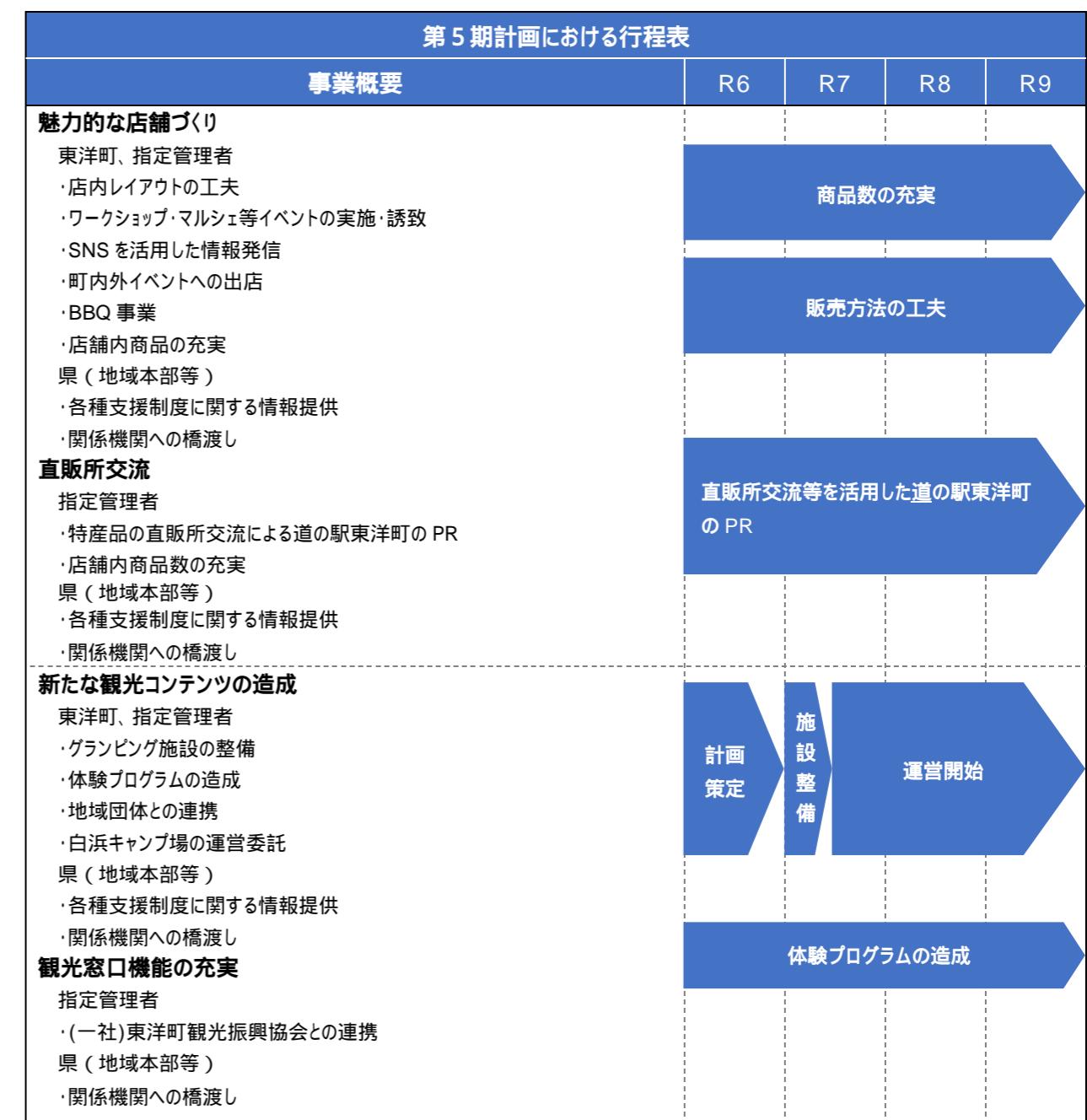
修正後

安芸地域アクションプラン

	分野	商工業
AP名 (実施地域)	No. 8 道の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)	
実施主体	東洋町、 指定管理者 ((株)FoundingBase)、生産者、地域団体	
APへの位置づけ	H21. 4月	
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「道の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)売上高	1.86 億円 (R4)				3.25 億円
(2)来場者数	169,520 人 (R4)				200,000 人

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅東洋町」の整備 (H20.1月) ・火災による焼失 (H24.7月) ・再建、運営開始 (H26.1月～) 　　産振補助金の活用 (H24～25) ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加 (H29) ・駐車場などを活用したイベント誘致 ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～3) ・キャッシュレス対応 (R2) ・駅長の設置 (R3) ・地域活性化起業人制度の活用 (R4～) ・BBQ事業の開始 (R4) ・直販所交流 (R4～) ・指定管理による運営開始 (R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅長（責任者）の設置による運営体制の強化 ・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供 ・売上高 R元:1.68億円 R2:1.35億円 R3:1.52億円 R4:1.86億円 ・入込客数 R元:175,666人 R2:140,231人 R3:155,477人 R4:169,520人 ・直販所交流 交流直販所数:31カ所 (R6.2月時点累計) ・観光窓口機能の充実 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者（出品者）との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用
観光機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・BBQ事業の開始、カツオの藁焼き体験の試行 (R4) ・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有 (R4) ・グランピング施設の検討 	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上 ・集客強化 ・リピーターの確保 ・町内事業者（出品者）との協力体制の構築 ・主力商品である魚の安定供給 ・町内事業者、地域団体との連携 ・白浜キャンプ場の活用



修正前

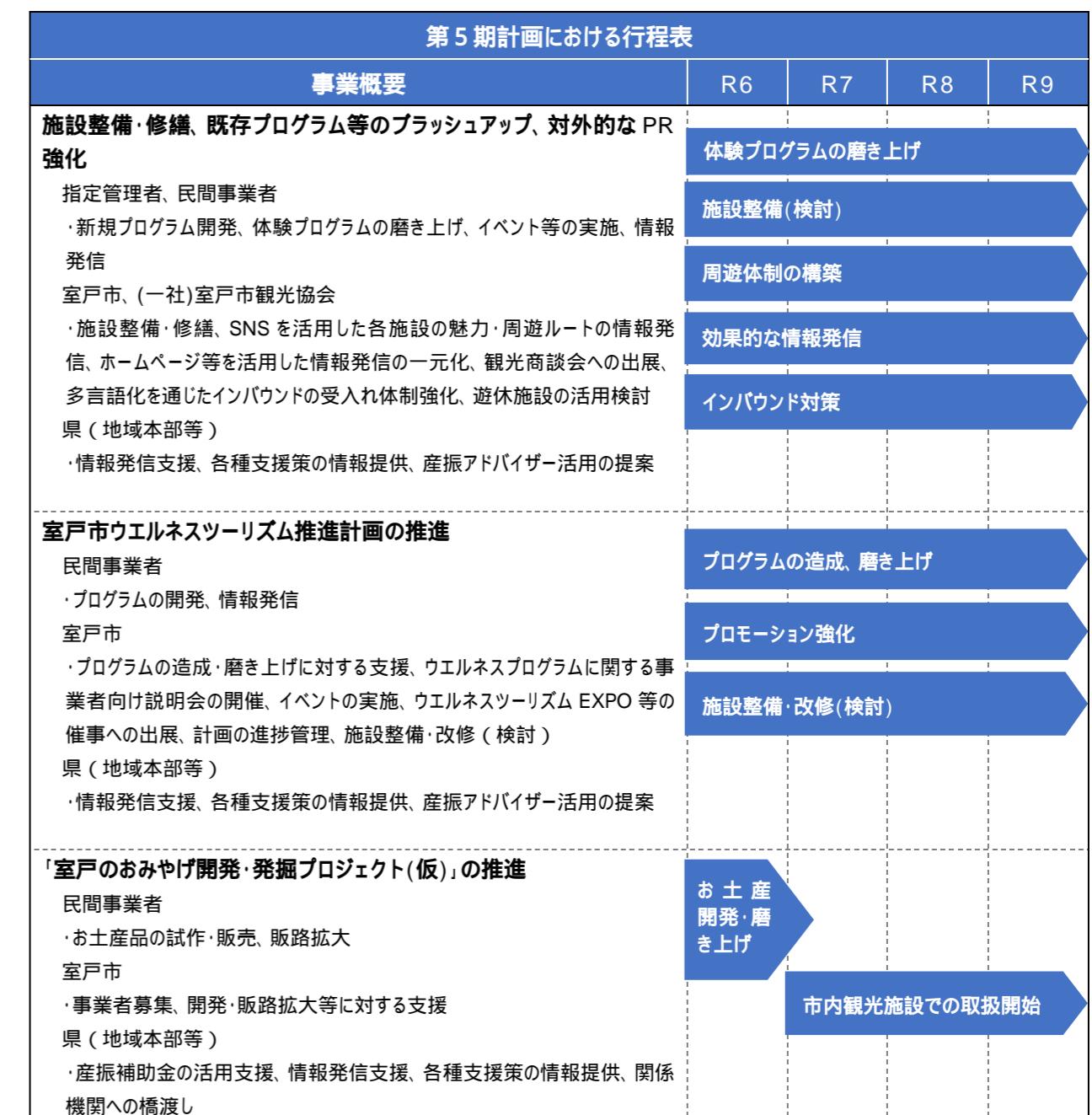
安芸地域アクションプラン

AP名 (実施地域)	No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)	分野	観光
実施主体	室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO 法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、民間事業者		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむなどの観光資源の魅力度を高めるとともに、室戸市が有する自然や文化、施設等の「ウェルネス資源」を生かした持続可能な周遊・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)室戸市主要施設訪問者数	505千人 (R4)				900千人
(2)ウェルネス関連の体験プログラム造成及び磨き上げ数	-				20件 (R6~9累計)

1月～12月

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光資源の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ジオパークネットワーク認定 (H20) ・世界ジオパークネットワーク認定 (H23) ・接遇等各種ガイド研修の実施 (H28~) ・海の駅とろむ飲食体験施設の再開 (R4) ・室戸ドルフィンセンターのキッチントレーラー、海上アスレチック等導入 (R3) ・観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・むろと廃校水族館の屋外プールへの日除設置 (R2) ・観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・MUROTObase55 の屋外風呂、トイレ、テントサウナの整備 (R3) ・観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・室戸岬観光拠点施設活用検討委員会設置 (旧飛巣荘) (R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパークネットワーク再認定 (R6.1) ・むろと廃校水族館の来場者数がオープンから5年で60万人を突破(R5.9) <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間の連携による周遊型、滞在型観光への転換
ウェルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市ウェルネスシティ基本構想策定 (R4) ・室戸市ウェルネスツーリズム推進計画策定 (R5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの開発・磨き上げ ・各施設の来館者数増 ・宿泊施設の不足 ・情報発信体制の構築 ・インバウンドの受け入れ体制強化 ・シレストむろとの施設老朽化 ・旧ウトコホテルの活用 ・お土産の不足
お土産の開発・販売拡大による外貨獲得		



修正後

安芸地域アクションプラン

AP名 (実施地域)	分野 観光
No.15 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)	
実施主体	室戸市、(一社)室戸市観光協会、室戸ジオパーク推進協議会、(株)日本ドルフィンセンター、NPO 法人日本ウミガメ協議会、土佐備長炭窯元炭玄、 スカイアンドシー・ムロト、(株)East 水産 、民間事業者
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむなどの観光資源の魅力度を高めるとともに、室戸市が有する自然や文化、施設等の「ウェルネス資源」を生かした持続可能な周遊・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)室戸市主要施設訪問者数	505千人 (R4)				900千人
(2)ウェルネス関連の体験プログラム造成及び磨き上げ数	-				20件 (R6~9累計)

1月~12月

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光資源の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ジオパークネットワーク認定 (H20) ・世界ジオパークネットワーク認定 (H23) ・接遇等各種ガイド研修の実施 (H28~) ・海の駅とろむ飲食体験施設の再開 (R4) ・室戸ドルフィンセンターのキッチントレーラー、海上アスレチック等導入 (R3) ・観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・むろと廃校水族館の屋外プールへの日除設置 (R2) ・観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・MUROTObase55 の屋外風呂、トイレ、テントサウナの整備 (R3) ・観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・室戸岬観光拠点施設活用検討委員会設置 (旧飛巣荘) (R5) 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパークネットワーク再認定 (R6.1) ・むろと廃校水族館の来場者数がオープンから5年で60万人を突破(R5.9) <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間の連携による周遊型、滞在型観光への転換
ウェルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市ウェルネスシティ基本構想策定 (R4) ・室戸市ウェルネスツーリズム推進計画策定 (R5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの開発・磨き上げ ・各施設の来館者数増 ・宿泊施設の不足 ・情報発信体制の構築 ・インバウンドの受け入れ体制強化 ・シレストむろとの施設老朽化 ・旧ウトコホテルの活用 ・お土産の不足
お土産の開発・販売拡大による外貨獲得		

